

# press release

2008年11月13日

(これは、ロンドンで11月7日付で配信したものを、日本の皆様に向けて抄訳したものです)

## スタンダードチャータード銀行、 アジアリスク誌「コモディティ・デリバティブ・ハウス・オブ・ザ・イヤー(エネルギー分野)」を受賞 業務開始以来2年、他の追随を許さない躍進を称えられ、最優秀賞を受賞

2008年11月7日、スタンダードチャータード銀行(本店:ロンドン、CEO:ピーター・サンズ/東京支店:千代田区 CEO:パトリック・ジロ)は、2006年にコモディティビジネスに参入して以来の当行の躍進を称えられ、アジアリスク誌より「コモディティ・デリバティブ・ハウス・オブ・ザ・イヤー(エネルギー分野)」-コモディティ派生商品(エネルギー分野)部門年間最優秀賞を受賞しました。

スタンダードチャータード銀行は、アジア地域におけるオフショア取引で、その力強い存在感により、競争を抑えてトップの地位を確立しています。アジア地域諸国における広範な法人顧客基盤と高い知名度を活用し、リスクマネジメント面での当行の強みを十二分に生かした運用方法を広めたことが、今回の受賞につながりました。

アジアリスク誌の編集者であるクリス・ジェフリー氏は、「スタンダードチャータード銀行は、競合他社が市場から撤退する中で、コモディティ派生商品、特に原油および石油製品の分野で、プライシングや商品設計を大いに進化させました」と、コメントしています。

スタンダードチャータード銀行は、スリランカ、パキスタン、バングラデシュなどの市場において、他の追随を許さない実績を誇っています。スリランカでは、リスクヘッジ型投資となる原油派生商品取引、パキスタンでは石油コモディティスワップ取引、そしてバングラデシュではコモディティ派生商品取引を、それぞれ初めて市場に導入し、主要市場において長年蓄積してきた当行の経験、知識・ノウハウをますます確かなものとしたしました。オフショア取引では、中国、タイにおける当行の知名度と現地に根ざした事業ネットワークも大きなメリットであるとお客様から評価をいただいています。

この受賞に際し、当行フィナンシャルマーケット部門グループヘッドであるレニー・フェダーは以下のようにコメントしています。

「私どものビジネスが、比較的短期間のうちに賞をいただくまでに成長し、それを皆さまに評価していただいたことを、大変喜ばしく思っております。今回の受賞は、当行が事業展開する主要市場で長年にわたりお客様との関係を構築し、市場のリーダーとしての地位を確立してきたことを裏付ける証しであると考えています。同時に、昨今の先行き不透明な市況に動じることなく、前向きにビジネス機会を捉えようとしてきた当行のスタッフに贈るすばらしい賞となりました」

当行エクイティ・デリバティブ・アンド・コモディティ部門のグローバルヘッドであるビンセント・バン・ペルトは次のように述べています。

「今回の受賞を大変喜んでおります。そして、それが今後の当行コモディティビジネスにとっても意義があることだと考えています。お客様の『真のパートナー』として歩む、という私どものコミットメント、熱意、そして約束が、この受賞により評価されたのです。今後も、これまで同様に顧客主導の姿勢を維持してまいります。また、これからも引き続き、アジア・アフリカ・中東地域に注力する事業戦略に支えられた収益成長を見込んでおります」

アジアリスク誌は、アジア太平洋地域における金融リスクマネジメントやデリバティブ市場ビジネスの専門誌です。1995年の発刊以来、金融リスクマネジメント関連情報の発信源として、アジア太平洋地域で活躍している、または同地域に強い関心を持つ金融専門家たちに読まれています。  
([www.asiarisk.com.hk](http://www.asiarisk.com.hk))

当件に関するお問い合わせは下記にて受け付けます。

森田 早智  
スタンダードチャータード銀行 東京支店  
コーポレートアフェアーズ部  
Tel: 03-5511-1245 / Fax: 03-5511-9333  
[Sachi.Morita@standardchartered.com](mailto:Sachi.Morita@standardchartered.com)

クリストファー・ドミター  
スタンダードチャータード銀行 東京支店  
コーポレートアフェアーズ部 部長  
Tel: 080-1037-6223 / Fax: 03-5511-9333  
[Christopher.Domitter@standardchartered.com](mailto:Christopher.Domitter@standardchartered.com)  
(日本語で対応します)

### スタンダードチャータード銀行－アジア・アフリカ・中東地域における先駆者として

スタンダードチャータード銀行の最終持ち株会社であるスタンダードチャータードPLCは、ロンドン証券取引所ならびに香港証券取引所に上場し、時価総額ベースでFTSE100構成銘柄の上位25社にランキングされています。ロンドンに本拠地を置く当行グループは、創立以来150年以上の歴史を誇り、世界で最もダイナミックな市場－アジア・アフリカ・中東地域における先駆者として事業展開しています。また、この5年間で収利益共に2倍強の成長を達成いたしました。これは事業母体からの収益成長(オーガニック成長)に加えて買収事業の後押しによるものです。

スタンダードチャータード銀行は、お客様のニーズに注力した世界最高のインターナショナルバンクを目指しています。当行グループが計上する営業収益および営業利益の9割以上は、アジア・アフリカ・中東地域で事業展開するホールセールバンキング・コンシューマーバンキング両部門の事業収益から創出されています。また、世界70カ国以上で1,750店舗を展開するグローバル事業ネットワークを有し、その市場やビジネスにおける飛躍的な成長により国際的なキャリア構築の機会を生み出しているのです。

当行グループでは、ステークホルダーである皆様の「真のパートナー」として長期的視野に立ったサステナビリティ(持続性)のある事業構築に取り組む傍ら、高いレベルでの企業統治(コーポレートガバナンス)を保持すると共に、社会的責任を果たし、環境保護と多様性のある人材育成にも力を注ぐことで、世界中の信頼を勝ち得ています。現在、115以上の国籍により構成される総勢75,000余名の行員(その約半数は女性)を擁し、上級管理職の国籍は60に及んでいます。

## 日本・アジア地域におけるスタンダードチャータード銀行について

日本におけるスタンダードチャータード銀行の歴史は、横浜にはじめての駐在員事務所を開設した1880年にさかのぼり、今年で128年となりました。現在では、東京支店(千代田区・山王パークタワー)および丸の内支店(千代田区・岸本ビル)において約290名の従業員を擁しています。スタンダードチャータード銀行は、アジア・アフリカ・中東の各地域で投資事業を展開する日本の企業法人・金融法人のお客様向けにホールセール(大口金融)、カストディ、トレジャリー、トレードファイナンス等の金融サービスを提供するほか、2005年には個人のお客様向けに「プライオリティバンキング」部門を開設し、さらなる成長を続けています。

## スタンダードチャータード銀行 ファイナンシャルマーケッツ部門について

スタンダードチャータード銀行 ファイナンシャルマーケッツ部門では、アジア、アフリカ、中東、英国、米国を網羅するグローバルな統合型ビジネス事業を展開しており、株式・コモディティ・債券取引関連業務(金利、外国為替、融資)、キャピタルマーケッツおよび仕組み商品関連業務を行っています。また、キャピタルマーケッツ事業部は、債券、資産証券化、シンジケートローン部で構成され、事業展開するコア市場において常に高い評価を得ています。各国市場においても現地通貨取扱い業務や債券発行業務で他行をリードしており、シンジケートローン業務では、トムソンファイナンシャル社IFR賞で業界3位にランキングされています(日本を除くアジア地域)。特に、イスラム金融、クロスボーダー取引に係わる保険業務については群を抜いた実力を誇っています。今年度のアジア・リスク・エンドユーザー・サーベイでは、為替デリバティブ業務で1位、金利デリバティブ業務では3位にランキングされています。当行ファイナンシャルマーケッツ部門は、オンショア・オフショア市場で100種類を超える通貨取引を積極的に展開し、金利・為替取引量において世界でも主要な地位を占めています。新興国市場への資金供与を行う大手銀行として、為替オプションの市場開拓・商品開発を先駆けて実践してまいりました。

世界におけるスタンダードチャータードのウェブサイト(英語): [www.standardchartered.com](http://www.standardchartered.com)

日本におけるスタンダードチャータード銀行のウェブサイト(日本語): [www.standardchartered.co.jp](http://www.standardchartered.co.jp)

日本におけるスタンダードチャータード銀行のウェブサイト(英語):  
[www.standardchartered.co.jp/index\\_english.html](http://www.standardchartered.co.jp/index_english.html)